



東洋医学公益講座

第3回

- ✓ 講師：羅 予澤
- ✓ 提供：未病予防協会
- ✓ 協賛：(株)ベンチャーバンク

先人の智慧、後世の階段

東洋医学の範囲

東洋医学の四大経典

黄帝内经

理論



難經

法則



傷寒雜病論



傷寒雜病論

処方

神農本草經



薬学

黄帝内经

- ✓ 成書：約2500年前
- ✓ 東洋医学の理論の集大成

【素問】 9卷81章

養生法、生理学、病理学、気運学、診断学
人と自然の関係

【靈樞】 9卷81章

生理学、解剖学、治療法



理

難經

✓ 成書：約2000年前

✓ 東洋医学の法則

別名：黃帝八十一難經 81章



治療法 — 主に鍼治療

診断法 — 主に脈診

法

傷寒雜病論

- ✓ 成書：約1800年前
- ✓ 著者：張仲景
- ✓ 疾病一般の診断と治療法としての総合書
- ✓ 薬の処方数：約260処方



傷寒雜病論

後世に【傷寒論】と【金匱要略】の
二部に分けられる。
日本の漢方医学の基礎となる

方

神農本草經

- ✓ 成書：不明
- ✓ 東洋医学の正統の本草書
- ✓ 365種の薬物を上品・中品・下品に分類記述



上品：無毒で長期服用が可能な養命薬

中品：毒にもなり得る養生薬

下品：毒が強く長期服用不可な治療薬

薬

東洋医学の範囲

四大經典の理論知識に基づいたもの



傷寒雜病論





東西医学の違い

東洋医学と西洋医学との比較



東洋医学



西洋医学

「気」を診る東洋医学

- ✓ 全体的、マクロ的
- ✓ 哲学的
- ✓ 物理的
- ✓ 個人医学
- ✓ 自覚症重視
- ✓ 天然生薬
- ✓ 物理療法
- ✓ 発展済み . . .

「病」を診る西洋医学

- ✓ 局部的、ミクロ的
- ✓ 科学的
- ✓ 化学的
- ✓ 社会医学
- ✓ 他覚症重視
- ✓ 化学薬品
- ✓ 化学療法
- ✓ 発展途上 . . .

「気」を見る東洋医学

元気、正気、本気、根気、邪気

気にする、気になる、気を付ける

気持ち、気づく、気さく、気配り

気が小さい、気が短い、気まずい

● ● ● ● ● ●

機能は「気」の働き

例：掌の色形 → 器質
掌の握力、指の動き → 機能

気の働きによっていろいろな機能がある

「気のせいです」とは

気の動き、流れ、量、質などの様々な
働きの良し悪しは、健康状態を大きく
左右する。

東西医学の違いの一つ



東洋医学



西洋医学

「気」を診る東洋医学

✓ 全体的、マクロ的

「病」を診る西洋医学

✓ 局部的、ミクロ的

例：手の病気の原因は、まず
手と頭、手と足、手と頸椎、
手と内臓の関連性から考える

発声は腎経の働きの一つ

事例

風邪後の失音

激痛だった内踝の
後ろにあるツボ
「大鐘」



様々な「気」

気 ≡ エネルギー

熱、光、電波、電磁波、電気、磁場、

圧力、引力、重力、空気、酸素、

水素、水蒸気、オナラ、ゲップ

● ● ● ● ● ●

「気」の本来の意味

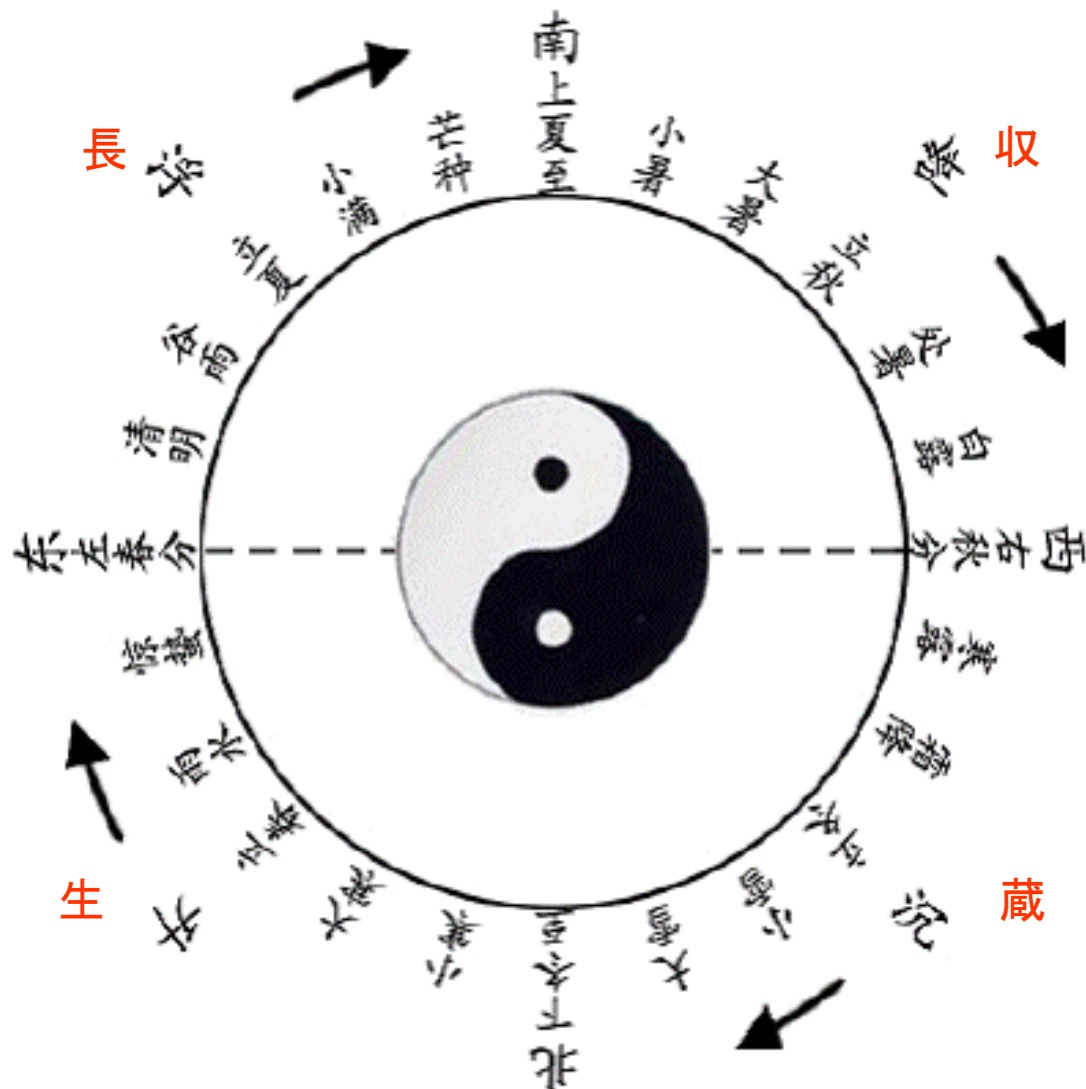
出典：【黄帝内経】

候 = 5日間自然エネルギーの変化

気 = 15日間（3つの候）
自然エネルギーの変化

気候という語源は東洋医学から

気候の変化を表す二十四節気



1太陽年を日数（平気法）あるいは太陽の黄道上の視位置（定気法）によって24等分し、その分割点を含む日に季節を表す名称を付したものの

by Wikipedia

時間も空間も「気」

例：春の花粉症やインフルエンザ

時間の变化に伴う気の変化によるもの

例：高山病や時差ボケ

空間の変化に伴う気の変化によるもの